

令和6年度第3回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会会議録

議題	(1) 患者支援センターの業務実績について (2) がん相談支援センターの業務実績について (3) 救急搬送状況について (4) その他
日時	令和6年12月20日(金) 午後7時00分 開会 午後7時40分 閉会
場所	茅ヶ崎市立病院 別棟会議室
出欠席者氏名	(出席) 高山慶一郎委員長、下里隆史副委員長、長岡健介委員、横山大樹委員、大木教久委員、大久保敦子委員、勝山貴美子委員、濱卓至委員 (欠席) 山口哲也委員、廣瀬俊之委員 事務局(中沢病院事業管理者、藤浪病院長、栗山副院長、岩澤副院長兼事務局長、益原診療部長兼患者支援センター所長、中戸川診療部長、河野中央診療部長、高瀬医事課長、平山患者支援センター担当長、岡野がん相談専従看護師、高橋医事課主査)
資料	・ 地域医療支援委員会次第 1 患者支援センターの業務実績について(令和6年4月から9月実績) ・ 紹介率・逆紹介率 (資料1-1) ・ 診療科別紹介率・逆紹介率 (資料1-2) ・ 茅ヶ崎市立病院 紹介元・逆紹介先医療機関一覧 (資料1-3) ・ 登録医救急診察専用回線による紹介患者集計表 (資料1-4) ・ 予約検査実績 (資料1-5) ・ 相談日誌(延件数) (資料1-6) ・ 退院支援実績 (資料1-7) ・ 小児周産期実績 (資料1-8) ・ 地域医療機関と連携した研修会等実績 (資料1-9) 2 がん相談支援センターの業務実績について(令和6年4月から9月実績) ・ がん相談支援センター実績報告 (資料2) 3 救急搬送状況について(令和6年4月から9月実績) ・ 病院別救急車搬送件数の状況(茅ヶ崎市消防) (資料3-1) - 科別救急車搬送件数の状況 ・ 茅ヶ崎市消防 茅ヶ崎市立病院搬送状況(行政地区別) (資料3-2)
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）

定刻となりましたので、令和6年度第3回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を開会いたします。本日は、皆様お忙しいところお集りいただき、ありがとうございます。

本日の司会進行を務めます、患者支援センターの益原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員10名に対し、本日は8名の委員に出席いただいております、茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規則第5条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、開会にあたり中沢病院事業管理者よりご挨拶申し上げます。

●事務局（中沢病院事業管理者）

皆さんこんばんは。茅ヶ崎市病院事業管理者の中沢でございます。

本日は、年末の大変お忙しいところ、今年度3回目の地域医療支援委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。日頃より皆様方には市立病院の運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

早いもので、今年も残すところあと10日余りになりました。今年は、記録的猛暑となった7月、8月に例年以上の入院患者さんを受け入れ、その後少し落ち着いていましたが、再び11月の半ばから入院患者さんも増えまして、現在、市民の皆様、医師会の皆様になるべくご迷惑がかからないような形で退院調整をしているところでございます。

昨年度、新しく導入しました手術支援ロボットも順調に件数を伸ばしておりまして、今年度に入り、呼吸器外科も加わり、泌尿器科、外科と合わせて診療3科で月平均10件程度の稼働状況となっております。

また、昨年度開設しました脊椎センター、人工関節センターにおきましても、おかげさまで整形外科全体の手術件数は月平均91件と、昨年度の72件を大きく上回っているところでございます。本日は、9月までの上半期の患者支援センターとがん相談支援センターの実績とともに、救急搬送件数の推移や地域医療支援病院としての業務遂行状況についてご報告申し上げ、ご議論いただくこととしております。どうぞ忌憚のないご意見を賜ればと存じます。よろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）

ありがとうございました。

それでは、議題に入らせていただきます。これより先の議事進行につきましては高山委員長にお願いいたします。

高山委員長、よろしくお願いいたします。

○高山委員

茅ヶ崎医師会の高山です。円滑な議事進行を心掛けてまいりますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは議題に移ります。まず、議題1の患者支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いします。

●事務局（平山担当長）

令和6年4月から9月の患者支援センター業務実績について説明させていただきます。患者支援センターの平山です。よろしくお願いいたします。

資料1-1をご覧ください。令和6年度紹介率・逆紹介率の表です。4月から9月の紹介率の平均は72.2%、逆紹介率の平均は101.5%です。令和5年度と比較して紹介率は2.3ポイント増加、逆紹介率は2.6ポイント増加しています。下段にあります、地域医療支援病院の承認要件②の紹介率65%以上・逆紹介率40%以上を満たしています。

資料1-2をご覧ください。令和6年9月と4月から9月累計の診療科別紹介率・逆紹介率の表です。右にある累計の覧をご覧ください。紹介率は、放射線診断科100%、眼科96.2%、リウマチ膠原病内科92.5%、循環器内科91.7%、の順になっており、逆紹介率は、代謝内分泌科、循環器内科、呼吸器外科の順になっています。

資料1-3をご覧ください。令和6年4月から9月の紹介元・逆紹介先医療機関一覧です。紹介元医療機関名と紹介患者数、そのうち予約検査数、前年度実績、前年度比を表しています。

紹介元医療機関はやまもと内科クリニック、藤川整形外科、大木医院の順に多くなっており、逆紹介先医療機関はやまもと内科クリニック、大木医院、藤川整形外科の順に多くなっています。

前年度と比較して、紹介患者数が最も増加したのは、7番の和田内科医院の33人増で、続いて10番の茅ヶ崎徳洲会病院の28人増、続いて5番の高橋医院の27人増になっています。

資料1-4をご覧ください。令和6年4月から9月の登録医救急診察専用回線・循環器ホットラインの紹介についてです。対応件数は331件で前年度より67件増加しました。そのうち入院に繋がったケースは147件で昨年度と比較すると21件増加しており、入院割合は44%になりました。小児科への紹介が全体の半分を占めており、入院割合は48%となりました。入電時間は午前9時台、11時台にかけてピークがあり、午後は16時台が多くなっています。

資料1-5をご覧ください。令和6年度の予約検査の件数表です。CT・MRIについては検査需要が高く推移しています。特にMRIは32件増加し、前年度比107.1%となっています。ペースメーカーありのMRI対応も行っています。エコー検査では、甲状腺エコーが前年度比150.0%となっています。

資料1-6をご覧ください。令和6年度、月別の相談延べ件数表です。相談対応は、看護師と社会福祉士が行っています。4月から9月の相談対応延べ総数は3,428件で、前年度比90.4%で減少しております。令和6年1月に導入した退院支援システム Mix Jam Cloud を活用した転院調整は251件であり、転院相談、院内外の連絡調整件数が顕著に減少しました。相談内容の多い項目としては、在宅退院に向けての退院相談が最も多く1,735件、次に転院に向けての退院相談が1,364件、次に社会福祉制度の相談が854件となっています。対応方法は電話での相談対応が1,907件と最も多いものの前年度と比較すると500件減少しています。退院支援システム活用による影響と考えられ、その分、対面での相談件数は1,635件と前年度と比較すると69件増加しています。院外関係者とのカンファレンスは令和5年度より7件増加の60件となっています。

資料1-7をご覧ください。令和6年4月から9月までの退院支援の実績表です。総退院患者数は5,401名、そのうち退院支援スクリーニングで退院困難な要因が確認された該当ありの患者が3,491名、そのうち入退院支援加算1を算定した患者数は3,212名、予定入院患者のうち退院困難な要因がある患者に入院前に支援を実施した入院時支援加算算定患者は1,445名、そ

の他、退院前後訪問、介護支援連携指導、退院時共同指導 2 実施数、多機関共同指導数のデータです。いずれも前年度を上回る退院支援状況となっています。

資料 1－8 をご覧ください。令和 6 年 4 月から 9 月までの小児周産期医療に関するデータです。分娩件数は 2 1 2 件、母体搬送数は 2 4 件、新生児搬送件数は 2 7 件、新生児搬送件数は前年度より 7 件減少しています。訪問型産後ケアは 8 件、今年度から開始した日帰り産後ケアは 9 件の利用がありました。また、メディカルショートステイは 7 件対応しています。

資料 1－9 をご覧ください。令和 6 年度地域医療機関と連携し、茅ヶ崎市立病院で開催した研修会等の実績です。9 月までに 1 2 回開催しました。研修会や症例検討会、カンファレンス等を通し、顔の見える関係性と連携強化を図れるように、継続的に進めていきます。

○高山委員長

説明が終わりました。議題 1 について、委員の皆さんからのご意見、ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○高山委員

特に質問等ないので、議題 1 については終了したいと思いますがいかがでしょうか。

ご意見がないのでこれで終了とさせていただきたいと思います。続いて議題 2 のがん相談支援センターの事業実績について、事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（岡野看護師）

はい。がん相談支援センターを担当しております、がん相談専従看護師岡野です。よろしくお願いいたします。

それでは、がん相談支援センター令和 6 年度 4 月～9 月の業務実績についてご説明いたします。

資料 2 をご覧下さい。1 の月別がん相談件数は、6 ヶ月で延べ 1, 0 1 3 件あり前年度より 3 7 5 件増加しました。同日に来られた方の相談に対して、例えば外来前や外来中、外来後など対応毎にカウントしていきますので、関わっていく回数に伴い多くなっています。また、高齢者や難聴、聾啞の方と継続で関わっているケースもある為、件数も多くなっています。

2 の受診状況別がん相談件数に関しては自施設入院が 1 5 1 件、自施設通院が 8 2 1 件でした。

3 の受診状況別相談方法は、対面相談が 7 7 0 件・電話相談が 2 4 3 件です。他施設からの相談に関しては、がん相談支援センターがない、地域連携室などで相談対応していない、相談出来る場所がない、当院へ転院が可能ななどの相談があります。患者さんや家族以外でも訪問看護や介護保険申請の際に情報提供した包括支援センター等から情報提供があり地域と連携を図っています。

4 の相談内容の内訳については、症状・副作用・後遺症などの相談が 6 6 7 件と一番多くなっています。その他に不安・精神的苦痛が 6 1 8 件、がんの治療について 4 2 4 件、在宅医療 2 4 3 件、ホスピス・緩和ケア 1 0 9 件となっていました。一人で複数の相談内容がある為、相談件数と一致しません。

5 のがんの状況については初発が 6 9 8 件、再発・転移 2 8 9 件でした。

6 の治療状況においては治療前が 2 0 5 件、治療中 3 9 9 件、治療後 5 8 件、緩和ケアのみが 1 7 9 件でした。治療が進んできた段階で医師からの依頼により今後の療養先の案内を行うケース、自由診療を受けて来られ症状緩和で通院されたケースに対して、急いで在宅医療を調整したケ

ースなどもあります。医師からの依頼に関しては、告知同席や治療方針のフォロー、療養先の案内調整が主な内容です。全ての項目の中で不明・その他に関してとありますが、がん相談支援センターでは匿名の方などもお受けしています。その為、相談の際に詳細内容を話したくないという方もいます。分かる範囲でのご相談とお伝えし、情報提供などを行っています。

7のがん相談支援センターへの専門家派遣依頼件数についてです。がん患者の様々な悩みに対応するため、神奈川県がん・疾病対策課よりがん相談支援センターに2019年から臨床心理士、2020年から社会保険労務士を派遣する事業を実施しています。2024年度からはキャリアコンサルタント、ファイナンシャルプランナーが派遣される事になりました。がん相談で相談を受けて専門家につながります。がん相談を受けたとき情報提供をしています。現在、臨床心理士の派遣のみです。

今後も引き続きがん相談支援センターの支援内容を知ってもらえる様に周知活動を続けていきたいと考えます。説明は以上になります。

○高山委員長

はい、説明が終わりました。議題2について、委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○濱委員

はい。

○高山委員長

濱先生お願いします。

○濱委員

はい。がん相談支援センターの相談内容を拝見したのですが、やはり不安と精神的な苦痛が2番目に多い状況となっているようですが、具体的には精神的な苦痛に対してはどのような対応をしているのでしょうか。

●事務局（岡野看護師）

はい。不安・精神的苦痛に関しては、看護師であるがん相談員が対応しており、内容によっては緩和ケアの看護師につながり場合もあります。

○濱委員

特に、精神保健士であるPSWなど資格のある人が行っている訳ではないということでしょうか。院内にその様な方はいらっしゃらないということでしょうか。

●事務局（岡野看護師）

はい。院内にはおりません。

○濱委員

分かりました。最後の、県の事業で臨床心理士の派遣件数なども、もう少しそういった意味では増えてもいいのかなと思います。

恐らく、活用するには色々と制約があり、件数が伸びない可能性はあると思いますが、県の事業であることを紹介して、もう少し増やしていても良いように思いました。

また、すみません、戻るようで恐縮なのですが、1つ目の議題のことで質問させていただいてよろしいでしょうか。

○高山委員長

どうぞ、お願いします。

○濱委員

はい。資料1－5になるのですが、下の方に栄養指導があるのですが、こちらの件数が1件となっています。栄養指導について、糖尿病や循環器などといった栄養指導はもう少し件数があっても良いように思いますが、こちらは何か特殊な栄養指導ということなのでしょうか。

●事務局（平山担当長）

ご質問ありがとうございます。依頼を受けての栄養指導の実施となっております、特殊なものではなく一般的な栄養指導かと思います。

○濱委員

管理栄養士さんの行う栄養指導は、腎臓病や循環器、糖尿病などについて行うことが多いと思いますが、その様なケースはカウントしてないということでしょうか。これとは別にあるということでしょうか。

●事務局（平山担当長）

診療所やクリニックなどからの依頼を受けて行っている栄養指導がこちらの件数になっております。院外からの紹介での件数となっており、依頼を受けての栄養指導となっておりますので、院内で実施している栄養指導とは別のものになっています。

○濱委員

分かりました。ありがとうございます。以上です。

○高山委員長

他に何か質問等ございませんでしょうか。大木先生、お願いします。

○大木委員

がん相談支援センターの実績は分かりました。かなり増えているとは思いますが、この相談を利用した方に対する満足度調査の様なアンケートというのは取られているのですか。

●事務局（岡野看護師）

はい、ありがとうございます。院内ではやっていないのですが、がん相談部会で昨年度から各施設に対して同じ質問内容で期間を定めて行うようになっています。

ただ、アンケートはしていますが、アンケートを出すタイミングが相談の後にお願いする形になっているので、泣いている方にアンケート調査を依頼することが難しく、患者さんの状況を見てお渡ししています。そのため、実際に1ヶ月調査した中でも7人くらいしか取れませんでした。その様な中で、がん相談をしている皆さんにお渡しして返事をいただいている訳ではないですが、結果としては聞きたいことが聞けたという返事が多かったです。以上になります。

○大木委員

恐らく、相談内容について誰が相談に乗るかというよりは、最終的には、がんに対することが分かった、もしくは満足度が上がり不安が少しでも軽減したということが凄く重要だと思いますので、各がんセンターでこの様なアンケートを取っているかと思います。

それによって患者さんの満足度だけでなく、がんに対する診療の理解など、がん診療においてもプラスになるかと思いますので、なかなか聞きにくいということは分かりますが、後日郵送して返信をいただくなど検討して、その場では書けないことでも後で返してくれるようなアンケートがあると相談のクオリティーも上がっていくかと思いますので、是非これだけケースが増えている中で大切なことではないかと思います。

●事務局（岡野看護師）

ありがとうございます。

○高山委員長

大木先生、ありがとうございました。他に何かご質問等ございませんでしょうか。

○高山委員長

ではないようですので、議題2については終了したいと思いますがいかがでしょうか。

○高山委員長

では、異議ないようなので終了とさせていただきます。

続いて議題3 救急搬送の状況について、事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（高瀬医事課長）

続きまして、議題3「救急搬送状況」について、ご説明いたします。

説明は医事課長の高瀬が説明いたします。資料については、資料3-1と資料3-2でございます。それでは資料3-1 上段の表をご覧ください。こちらは、茅ヶ崎市消防の救急搬送件数を搬送先の医療機関ごとに月別で集計したものでございます。表の右側、年度累計（当月まで）の欄をご覧ください。こちらは、今年度の4月から9月までの合計と前年度の4月から9月までの合計および、それぞれの割合について表したものです。今年度の4月から9月までの全体搬送件数は、1,581件と前年度の8,748件から590件減少しており、当院への搬送件数も2,273件と前年度

の2, 488件から215件減少しています。また、当院への搬送割合も今年度は27.9%と前年度28.4%から0.5ポイント減っております。他院の状況につきましては湘南藤沢徳洲会病院への搬送割合が今年度は22.8%と前年度25.5%から2.7ポイント減少しており、その他は湘南東部総合病院や茅ヶ崎徳洲会病院が1ポイント程度、搬送される割合が増えています。

次に下段の表をご覧ください。こちらは診療科別に救急車の受入件数とそこから入院した患者数を表した者でございます。下段の表、一番下の入院率をご覧ください。今年度は各月とも入院率が35%を超えており、7月から9月に関しては40%近い入院率となっています。右側の年度累計（当月まで）を見ましても、今年度は39.5%と前年度の35.2%から4.3ポイント増加しているところでございます。

続きまして資料3-2をご覧ください。こちらは、今年度4月から9月にかけて、茅ヶ崎市消防による市立病院への搬送件数と割合を地区別に分類したものでございます。

資料一番下の合計の欄をご覧ください。一番右の27.9%というのは、資料3-1に示した茅ヶ崎市消防から市立病院に搬送された割合でございます。地区別では、茅ヶ崎地区、鶴嶺地区、松林地区からの搬送が多くなっている現状であります。小出地区や寒川地区からの搬送割合が少なく、当院は茅ヶ崎地区にあります。1番下のところを見ていただくと搬送割合としては松林地区が一番多く34.1%、次いで鶴嶺地区が27.5%などからが多い状況でございます。

なお、右側の地区で申し上げますと、1番上の茅ヶ崎地区につきましては茅ヶ崎中央病院が管轄になるかと思えます。南側では茅ヶ崎徳洲会病院が救急医療を担っているところでございます。鶴嶺地区につきましては、湘南東部総合病院が近傍の病院となっているところでございます。松林地区につきましては、上から4つ目くらいまで赤松町くらいまでが当院の近傍になっており、そこから下につきましては、湘南藤沢徳洲会病院の近傍になっております。小出地区につきましては、道路の使用について分かれるところではございますが、当院もしくは湘南藤沢徳洲会病院または藤沢の病院に運ばれるところが多いかと思えます。寒川地区につきましては、寒川病院が救急告示病院でございしますので、そちらに運ばれることが多いかと思えます。報告は以上となります。

○高山委員長

それでは、説明が終わりました。議題3について皆様からのご意見、ご質問等はございますでしょうか。

○高山委員長

特に質問がないようなので、議題3については終了したいと思います。いかがでしょうか。では異議なしということで、議題3は以上をもちまして終了とさせていただきます。

続いて議題4その他についてです。委員の皆様または事務局から何かございますでしょうか。

●事務局（高橋医事課主査）

事務局から1つ、今回の会議の開催について申し上げてよろしいでしょうか。

○高山委員長

はい、お願いします。

●事務局（高橋医事課主査）

令和6年第4回目の地域医療支援委員会ですが、令和7年3月14日金曜日に開催させていただきたく、よろしくお願いいたします。

時間につきましては、本日と同様に19時を予定しており、後日改めて通知等は皆様に送付いたしますが、この場を借りて次回の委員会開催予定を周知させていただきたく、よろしくお願いいたします。

○高山委員長

それでは、時期が近くなりましたら再度連絡をお願いします。本日ご出席の委員の皆様も予定を空けて会議に参加していただければありがたいと思います。

その他、何かございませんでしょうか。特になければ本日の議題は全て終了といたします。皆さん、ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。